



福島「結果にこだわる」

リオ五輪決定意欲新た

【愛知】日本陸上競技連

盟は27日午後、名古屋市内で記者会見し、ブラジル・リオデジャネイロ五輪の日本代表として新たに男子21人、女子11人を発表した。3度目の五輪出場を決めた

記者会見で意気込みを語る福島千里。27日、名古屋市内のホテル

福島千里選手(28)は北海道ハイテクAC―帯南商高、幕別糠内中、糠内小出身。三度目の正直という言葉もあるので、結果にこだわって走りたい」と意欲を新たに示した。

福島選手は26日まで同市で行われた日本選手権で女子1000㍎の7連覇を達成。同200㍎では22秒88の日本新で6連覇を決め、圧倒的な強さで短距離2種目の代表をつかんだ。

この日は日本陸連が選手名を公表後、福島選手や男子短距離の桐生祥秀選手(東洋大)ら8人が日本代

表の公式ウエアで登場。それぞれ抱負を語った。福島選手はこの日が28歳の誕生日。報道陣から送られた花束に笑顔を見せていた。

このほか、リレー3種目の代表候補12人も選ばれた。リレーは7月11日現在の国際ランキング16位以内が出場条件。女子400㍎リレーの日本は圏外の17位で、福島選手は日中韓3カ国交流大会(7月3日、韓国)、大阪選手権大会(同8〜10日、大阪)の同種目に出場し、代表権獲得を目指す予定。(松村智裕)

(8、21面に関連記事)